

会 議 名	令和7年度 第1回西尾市子ども・子育て会議
日 時	令和8年3月17日（火） 午後1時30分～午後3時00分
場 所	西尾市役所 21会議室
出 席 者	委 員 山口会長、日高副会長、野田委員、篠瀬委員、大河内委員、山崎委員、名倉委員、木村委員、加藤委員、平田委員、鏑本委員、柴田委員、阿部委員、小嶋委員、内田委員、榊原委員、手嶋委員 事務局 子育て支援課…本田課長、芦田課長補佐、中嶋主任主査 原田主査、鈴木主事 保育課…矢次課長、齊藤課長補佐、齋藤課長補佐 家庭児童支援課…犬塚課長、岡田課長補佐 健康課…稲垣課長、水谷課長補佐
傍聴者	0名
結果等	市長からの諮問に基づき、以下のとおり会議を開催した。 1 あいさつ 2 西尾市こども計画に位置付けた施策の進捗状況について 事務局より、「西尾市こども計画に位置付けた施策の進捗状況」について説明（主な質問・意見） ・非常に多くの取組をしていることに感銘を受けた。報告があったのはその一部であるか。 →報告内容は、多くの取組の中の一部であり、新たな取組やこれからもっと良くしていきたい取組、市としてPRしていきたい取組などを中心に報告している。 ・事業の多くは拡大または継続で、「結婚支援事業」は縮小となっているが、その背景は。 →「結婚支援事業」はこれまで市が主となって取組をしていたものを、今後は民間の取組を支援することを検討している。 ・全体的に拡大や継続としている事業が多いが、市の負担が大きくなるのではないか。 →方向性を「拡大」としているものは、100%達成した事業をさらに拡大していくというものもあれば、まだ100%に達していない事業を、100%に近づけていくということも含んでいる。 ・達成状況が0%というものもあるが、どのような理由か。 →こども計画は令和7年度からの5年間を計画期間としており、すべての事業が初年度に実施されるわけではないため、0%のものがある。これは、例えば「こども誰でも通園制度」については、令和8年4月から本格実施するため、令和7年度時点では0%となっている。

- ・計画の推進に関して、多くの担当課が関わっているが、どのように連携し、今後の進捗管理はどのように実施していくのか。
→事業を主体的に実施していくのは各担当課であるが、子育て支援課が中心となって各課に毎年の取組状況の報告を求めていく。その内容を毎年子ども・子育て会議で報告し、意見等を受け、進捗を管理するとともに今後の施策に反映していく。
- ・計画は策定して終わりではなく、実行可能性等含めてPDCAサイクルを回していくことが重要。
→引き続き各課と連携し、連絡調整や改善等を実施していく。
- ・こども会議の様子や、会議でのこどもたちの反応、会議で出た意見などはどのようなか。
→こどもたちを学年等により6グループに分け、大学生を各グループのファシリテーターにするなど、こどもたちが自由に意見を言えるような雰囲気を作ること、自分たちが何にワクワクするのかについて楽しそうに意見を言うことができ、会議の最後には、「来年も参加したい。」という声を聞くこともできた。意見としては、学区の違うこどもたち同士でつながれる遊びやイベントなどを実施したいというものや、会話ができる新しい形の学習スペースがほしいといったものなどが出た。会議の様子は市ホームページにも掲載されている。（掲載資料を配布）
- ・出産祝い金の支給方法について、口座振込ではなく物品やカタログギフトのような形式のほうが、祝いの実感がわくのではないか。
→出産祝い金について、国からの給付金は口座振込だが、西尾市独自の制度として実施する給付については、令和8年度からデジタルギフト形式を考えている。

（承認事項）

本日の意見を踏まえ、西尾市こども計画を推進するよう求める旨の答申とすることを全会一致で承認した。

- 3 西尾市子ども・子育て支援事業計画 代用計画（誰でも通園）の策定について
事務局より、「西尾市子ども・子育て支援事業計画 代用計画（誰でも通園）の策定」について説明（意見・質問はなし）

（承認事項）

事務局の説明のとおりで、全会一致で承認した。

（事務局）

本日の各委員からの意見は、今後の施策推進に生かしていく。

4 その他

事務局より報酬の支払等について説明し会議終了。